

## 令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県北会場

#### 科目 ③子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ

- ◆ 近年における女性の就業割合の高まりや核家族化の進行など、児童と家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を確保するとともに、次代を担う児童の健全な育成を支援することを目的とする放課後児童健全育成事業や、他にも障害児受入推進事業など様々な事業があることを学びました。この研修で学んだことを今後役立てていきたいです。
- ◆ 放課後児童クラブは知っていても、児童館との明確な違いなどは曖昧にしか分かっていなかったもので、今回の講義で知ることができて良かったです。また、写真付きでモデルケースを見られたのはとても参考になりました。また、放課後子供教室を今回初めて知ったので、放課後児童クラブだけでなく、子どもに関わりがありそうな事業や取り組みについても知っておくべきだと感じました。
- ◆ 急速な少子化、家庭及び地域環境の変化に伴い、子育てしやすい社会となるように取り組む支援制度「新・放課後子ども総合プラン」は素晴らしいと思いました。子どもに関わる様々な分野の人たちがお互いに協力し合って子育てを支援していくこと、一人ひとりの子どもがすこやかに成長することを願って、一人の支援員としてそれを手助けしていきたいと思いました。
- ◆ すべての子どもが、健やかに成長できるように支援する制度について学びました。国・県・市町村が連携して、通常の放課後児童クラブの運営費のほか、ガソリン代や防災防犯対策に必要な改修、備品購入に係る費用などを助成する様々な事業があることを知りました。そのことに対して、放課後児童クラブの職員として感謝しつつ、子どもたちのためにこれからも頑張りたいと思いました。
- ◆ 子ども・子育て支援新制度の中に、放課後児童クラブが様々な補助を受けられる事業があることを知りました。例えば、支援員の処遇改善、必要な備品購入への補助など県や国からのサポートがあり、それを受けるには様々な条件もクリアしなければいけません。知っておいて損はないと感じました。むしろ、手厚く支援してもらえたら、子どもたちがより過ごしやすく、職員が働きやすくするためにも、積極的に申請していくべきだと感じました。